

- 1 日時場所 令和2年9月24日(木) 10時00分開会
南魚沼市民会館 2F会議室
- 2 出席者
委員：岡村秀康教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員
事務局：片桐教育部長、関学校教育課長、滝沢社会教育課長、西潟生涯スポーツ課長、阿部子ども・若者育成支援センター長、山崎図書センター長、小宮山管理指導主事、田中管理指導主事、倉上指導主事、種村教育相談指導主事、長田SSW、久川囑託指導主事、佐藤学校庶務主幹、学校庶務班青木
- 3 議題
日程第1 **会議録署名委員の指名について**
角谷正雄委員、川島亜紀子委員
日程第2 **教育長及び事務局諸報告**
(教育長) 日程2ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり。
質疑なし
日程第3 **管理指導主事等からの報告**
(田中管理) 中学校関係について、昨今の気候変動により、運動会や体育祭における熱中症対策が限界にきている。9/15の市中学校校長会において、開催時期について協議し、現在行っている9月の第1週土曜日を避けることとした。各学校で行事等を考慮しながら、来年1月頃までに、開催時期を決定する予定。
(小宮山管理) 小学校関係について、学校の行事や日々の授業は、新型コロナウイルス対策を行いながら、大過なく順調に進んでいる。
(田中管理) 春から延期となっていた大和中、八海中、塩沢中の修学旅行については、新型コロナウイルス第2波の状況を鑑み、全て中止とした。現2年生が行く今年度の修学旅行については、実施するか否かの判断はまだしていない。
(川島委員) 秋の大きな行事である運動会や小学校の修学旅行が行われ、安心している。今後は、小学校の発表会、中学校の合唱祭などが室内で開催されるが、対策はどうするのか。新型コロナウイルスによる影響や対策は、今年度だけではなく来年度も続くことが考えられる。学校の行事に参加した際に、行事等をオンライン中継や動画配信することを考えた方が良いのではないかとの意見を聞いた。予算の面や色々な面で、工夫する必要があると感じた。学校や市民会館などのオンライン等に対応した設備は、どの程度整備されているのか。
(田中管理) 中学校の合唱祭については、観客席の座席数を定員の半分以下とし、間隔を空けて座る様に明示をする。学校によっては、事前リハーサルを観覧するよう促し、合唱祭当日の観覧者数を減らすことを考えている。大ホールの空調設備は、1時間でホール内の空気を入れ替わる。市民会館に来場者の体温を測定するサーマルカメラを導入し、稼働させる予定。
各学校の行事については、学校安全マニュアルに沿って対応している。何度も改定があり、その都度周知している。密にならない環境、換気、入場者制限、アルコール消毒、検温等を行う。事前の行事案内の段階から、体調不良や熱がある場合には参加しないようお願いする。入場制限については、各学校の対応を確認するが、安全マニ

ユアルや国のガイドラインに従って、綿密に行うよう指導する。

現在の国の方針では、大規模イベントの開催方法については、緩和されてきている状況にある。そういったことのバランスも考慮しながら、各学校において対応していく。

(小宮山管理) 小学校についても中学校と同じ状況。入場制限を行い、十分な対策を取っている。

(教育部長) 9月議会において補正予算案を提出し、2点の予算を確保した。入館者の体温を測定するために、サーマルカメラを4台購入し、市民会館、ディスプレイ、大原運動公園、石打トレーニングセンターに設置する。次に、LAN配線の工事を市民会館内に行く。工事箇所は、研修室、会議室、実習室、講座室などを予定している。大ホールについては、仮設工事によりLAN配線を設置し、1度テストを行った上で常設とする。音響効果に影響が無いよう検討しながら、時代の要請に対応できるようにしていきたい。

(学教課長) 新型コロナウイルスの影響により、GIGAスクール構想の計画が前倒しになり、準備を進めている状況にある。9月議会において補正予算案を提出し、生徒児童の一人一台端末の予算を確保した。現在、購入するタブレット端末のOSをどうするのか、検討している。また、学校内のLAN設備の整備だけでは、データ通信をする上で不十分なため、インターネットへ接続するための回線も、整備する必要がある。その整備をどのようにすれば効率的に行えるのか、管理等を含め手間の掛からない方法を調査している。

(須藤委員) これまで文部科学省が教育改革を行う場合には、事前に開始する年度を定め、猶予期間があった。各現場では、教職員が対応できるように研修の場が設けられていた。今回のGIGAスクール構想では、猶予がなく即対応を求められている。パソコン関係に長けている教師は、タブレットを活用し、授業を行っているとの新聞報道を見るが、そうではない抵抗感のある教師にとっては、そのことがストレスに感じるのではないか。タブレットを教育技術として使いこなすために、研修会を市教育委員会や学習指導センターが主導し、計画的に進めていく必要がある。環境的に整備ができて、それを使いこなすことができない教師の心労を考えると気がかりだ。タブレット端末の整備と並行し、研修会を行うことは難しいと思うが、考えていく必要がある。

(西野委員) 国もデジタル庁を設置する時代になった。ハード面だけを整備してもうまくいかないことがある。過去に南魚沼市においても、モデル校を設定しパソコンを早めに貸与し、授業に活用したことがあった。当時は、他市町村への視察にも数多く行ったが、効果があったのかどうか、検証はどうだったのか。その中で一番に気になったことは、教師自身が授業についていけない。教師への教育をそういった視点で行ってこない。デジタル庁が設置され2年程度経過すると、様々な施策が発表されていく。コロナ過において、速やかに児童生徒にタブレットを配布することは良いことだが、国県の動きを見て行く必要がある。デジタル的に授業を行う際に、専門的なアシスタントのサポートがないと教師の負担が大きい。ノウハウを持っている専門家でもうまくいかない状況にある。教育委員会においては、専門的な担当を立ち上げ、デジタルの問題について対応していかなければならないと考えている。検討していただきたい。

(学教課長) ハード面の整備により、教育が良くなるとは考えていない。教師がいかにか活用するにかかっている。教師は、多忙化による余裕のない状況で取組む必要があり、教育委員会としては、できる限りのサポートをしなければならない。文部科学省においても、サポートが必要だとの認識を持っており、配置に対する財政措置を行うことを示している。市では、現在5人の支援員を配置している。最低限5人を維持し、さらに支援員を増やせるような体制を作っていかなければならないと認識している。

(角谷委員) 授業で標準化したものを使用する他に、個別指導による支援の場で活用する部分が

あっても良いと考える。また、撮影した動画や写真をSNSや動画サイトにおいて共有する場合には、アクセス権限を限定させるなど、厳重な管理をしていく必要がある。検討していただきたい。

教師には、授業時間の問題がある。個別支援を行っていく場合は、端末を活用することで、いつでも児童生徒への対応ができるようになる。個別支援が行えるようになれば、不登校の児童生徒への対応としても活用できる。授業として成り立つかどうかの問題や、誰がサポートするのかなどの問題もあるが、そういった部分を含めて対応できれば良い形になるのではないかと。

(教育長) ハード面だけでなく、どのように活用するのか、それが子どもたちにとって良い結果となるよう取り組んでいく。

(倉上主事) 特別支援教育関係について、就学相談を進めている。小中学校、保育園、保健課と連携しながら対応している。

(西野委員) 学校に行くことができない、行きたがらない児童生徒のために、不登校特例校が全国に設置されているとの報道を目にする。市立の不登校特例校を設置する動きもある。その学校は、カリキュラムや卒業のための制限も、極めて緩やかである。当市は先進的に総合支援学校を開設した。さらに掘下げて対応していく必要があるのではないかと。中学生を対象にした、卒業ができるという繋ぎとなるような学校が、必要な段階に来ていると感じている。情報があれば教えてほしい。

(倉上主事) 各市町村において、取り組んでいることは知っている。調査し、情報提供する。

(久川主事) 9/11 から算数や数学の講座を開設した。今後は、講座や研究授業に取り組んでいくが、10/9 に北辰小学校において英語の研究授業を行う。1 学期に行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により延期となっていた。参加者が 20 名程度集まることから、密になることを避けるために、普通教室よりも比較的広い視聴覚室に変更し、研究授業を行う。

新型コロナウイルスの影響により、学習指導センターとして伝えるべきことが、伝えきれていない状況にある。特に外国語の支援やサポート、研修等ができていない。学習指導センターでは、授業の進め方などのDVDを作成し教師に配布しているが、ゆっくりと研修をする場がない状況が続いている。今後は、3 密を避けながら研修会等を進めていく。

日程第 4 **第 44 号議案 就学援助の認定について（8 月申請分）**

(庶務主幹) 日程別紙、就学援助の認定について（8 月申請分）当日配布資料説明。

質疑なし

日程第 5 **第 45 号議案 就学援助の認定について（新型コロナウイルス感染症の影響による収入減支援策分）**

(庶務主幹) 日程別紙、就学援助の認定について（新型コロナウイルス感染症の影響による収入減支援策分）当日配布資料説明。

質疑なし

日程第 6 **第 46 号議案 特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について（8 月分）**

(庶務主幹) 日程別紙、特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について（8 月分）当日配布資料説明)

質疑なし

日程第7 その他

(1) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について（8月分）

(子若センター長) 日程4ページ、8月分相談等状況について資料説明。

(西野委員) 新型コロナウイルスの影響により、夏休み期間が短くなったが、例年の状況と比べ夏休み明けの相談状況に変化はあるのか。

(子若センター長) 例年では、夏休みが明け2学期が始まると、徐々に相談件数が増えていくが、今年は少ないように感じている。春に学校が休業したが、例年であれば4月下旬頃から相談を受けていた。休業による影響なのか、相談のスタート時期が遅れてきている。2学期が始まり、子若センターに相談が来ない原因としては、学校でしっかりと対応していることも考えられるが、判断がつかない状況にある。

(2) 家庭教育支援事業実施状況について

(社教課長) 日程12ページ、家庭教育支援事業実施状況について資料説明。

質疑なし

(3) その他

(学教課長) 多くのクマが出没している。昨年度もクマの出没が多発し、人的な被害が発生したため、冬期バスをクマ対策用として11月から運行していた。今年度についても、8月から出没し始め9月も頻発していることから、クマ警戒注意報を発令し、行政区や学校に対し注意喚起をお願いしている。保護者に対しても見守り等の協力をお願いしている。学校教育課では、クマ対策用として冬期バスの運行を早めることとした。市直営のバス路線については、既に一部の運行エリアの変更やバス停の場所を変更するなど、子どもが単独で歩くことのないよう配慮した。冬期バスを前倒しして、運行することを検討している。今後の出没状況により、学校や地域と連携しながら人的な被害が発生しないよう対策を進めていく。

(角谷委員) 新型コロナウイルスの影響により、市内スポーツ施設の利用制限が続いている。10月からGo To トラベルキャンペーンに東京も加わる。9月から人の動きも多くなっている。市内スポーツ施設の開放については、どのようになっているのか。

(スポーツ課長) スポーツ施設については、市外県外の利用制限はない。3密の回避やマスクの着用、新しい生活様式の中で対応していく。市外からの合宿にも影響が出ており、自粛している状況に変わりはない。

(教育長) 次回日程について、10月27日(火)9:30から市民会館で行う。第11回教育委員会は、11月27日(金)9:30から市民会館で行う。以上をもって、第9回教育委員会を閉会とする。

11時53分閉議閉会